The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	デンマーク語（スウェーデン語・ノルウェー語）の海水魚類名称の日本語訳 : いわゆる”マイナー言語”の辞書作りの困難;英和辞典 ; 独和辞典と比較しながら
Author(s)	新谷, 俊裕
Citation	大阪外国語大学論集. 2001, 24, p. 151-184
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79849
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

大阪外国語大学論集第24号（2000年）

デンマーク語（スウェーデン語・ノルウェー語）の海水魚類名称の日本語訳

―いわゆる“マイナー言語”の辞書作りの困難；英和辞典，独和辞典と比較しながら―

新　谷　俊　裕

Japanske oversættelser af danske (svenske og norske) saltvandsfiskenavne

– Vanskeligheder knyttet til redigering af ordbøger af såkaldte 'minor languages'; med sammenligning med engelsk-japanske og tysk-japanske ordbøger –

SHINTANI Toshihiro

Det er mange gange ret vanskeligt at finde rette japanske oversættelser af danske betegnelser for genstande der ikke findes i Japan. Det gælder især for dyr- og plantenavne, for mange navne fra Danmarks fauna og flora findes ikke i Japan. Det bliver så et af de problemer der opstår ved evt. redigering af en dansk-japansk ordbog. Redaktionen af sådan et såkaldt 'minor language' og japansk ordbog, består normalt af højst tre-fire humanister der har ringe kendskab til naturvidenskab, herunder dyr og planter, og derfor kan der let begås fejloversættelser. Ved at tage danske saltvandsfiskenavne som eksempler vil jeg i denne artikel vise hvilke typer fejloversættelser man kan begå og derfor bør undgå, hvorledes man kan finde rette oversættelser, og hvor præcise oversættelser man bør finde.

Når det drejer sig om såkaldte 'major languages' som engelsk og tysk, vil man umiddelbart tro at der er mange flere personer der er involveret i redigering af engelsk-japanske eller tysk-japanske ordbøger, deriblandt nogle naturvidenskabsmænd, så der er ingen eller kun få fejloversættelser af dyr- og plantenavne at se. Er det nu tilfældet? Dette vil jeg undervejs kigge lidt på.

Til sidst kan jeg nævne at jeg lige så godt kan medtage svenske og norske saltvandsfiskenavne i denne artikel.

1．はじめに

ルーマニアのドナウデルタにかつてロシアから移住してきた少数民族リポバ人の暮らし，とくにナマズ漁に関するテレビ番組を最近見た.[1] 放送開始から 14 分くらい経った頃に「黒海からさかのぼってくるチョウザメやスズキがとれます」というナレーションがあり，そのナレーションが終わったちょうどその時，1 尾の魚が小舟に上げられ，「これがスズキです」という新たなナレーションが入る．本稿の筆者は自分の耳を疑った．なぜなら画面に映ったのは明らかにカワカマスであったからである．誤訳であろうか，それとも別のミスに起因しているのであろうか．誤訳というのは，しかしながら，考えにくい気がする．というのは，例えばデンマークなどにいる aborre という淡水魚は日本には生息せず，したがって日本語による適切な呼び名（いわゆる標準和名[2]）が存在せず，日本語訳に困るのであるが，この aborre をデンマーク語－ドイツ語辞典で調べていくとドイツ語の Barsch にたどり着き，そこから独和辞典の種類によるとスズキにたどり着く危険もある（『独和マ』[3]）．この“スズキ”という『独和マ』の訳語は誤りだと言わざるを得ない．確かに aborre/ Barsch はスズキ目スズキ亜目ペルカ科に属すが，だからといってこれをスズキと呼ぶのは，シロギス［俗にキスと呼ばれる］（スズキ目スズキ亜目キス科）やマダイ（スズキ目スズキ亜目タイ科）をスズキと称するのと同じことであり，とうてい受け入れることはできない．一方，カワカマスは分類学上，カワカマス目という独立した大きな部門に属しており，スズキの属するスズキ目とはまったく異なっているから，辞書をどのように（間違って）調べようとも，カワカマスを調べていてスズキにたどり着くことはあり得ないと思えるのである．いずれにせよ，上記のテレビ番組は放送されるまで，〈カワカマス⇔スズキ〉の誤りに番組関係者の誰一人として気づかなかったわけである.[4] カワカマスは日本には生息しないので，これを知らない日本人は多いであろうし，日本では非常に一般的な魚であるスズキの名前は知っているが，見てそれと分からない人が大勢いることから，この番組の誤りの背景も容易に想像できそうである．

カワカマス（デンマーク語では gedde）は日本に生息せず，日本人には馴染みのない魚であるにもかかわらず，定着した日本語の呼び方、すなわち標準和名が存在するが，先に見たデンマーク語で aborre という魚のように，日本には生息せず，したがって，日本語の呼び方，標準和名があるかどうか分からないもの，あるいは，標準和名がないものの場合には，その日本語訳をどうするかということは，困難な問題となる．これは例えばデンマーク語－日本語辞典を編纂しようとする場合にも当てはまることである．英和大辞典や独和大辞典などのように執筆やあるいは校閲で多数の専門家の協力が得られるメジャー言語の場合とは異なり，いわゆる“マイナー言語”であるデンマーク語の辞書，デー日辞典では編集・執筆者が若干名いるだけで，しかもその全員が文系であろう．その場合にはよほど注意しないと誤った訳語を辞書に載せかねない．アンデルセン童話を読んで，次のような誤解が生じては困るのである．

> 「この国で一番大きな緑の葉といえば、それは、たしかにスカンポの葉でしょう。この葉を子供がおなかの上につけますと、ちょうどエプロンのようになります。また、頭の上にかぶりますと、雨降りの時には雨傘のかわりになります。この葉はそんなにも大き

いのです」(『幸福な一家』、岩波文庫)。(百瀬・村井 1996: 140)
このくだりは，植物に無知な本稿の筆者なら何の違和感もなく読んでしまうが，「我が国では初夏の土手などに淡緑色の小花を開く約五〇センチ丈の」(百瀬・村井 1996: 141) スカンポという雑草を知っている者にとっては，「大変困惑するくだり」であると村井氏は指摘する(百瀬・村井 1996: 140)．ここでスカンポの葉と訳されているデンマーク語は skræppeblad であり，skræppe は辞書をふつうに見ていくかぎりでは“ギシギシ；スカンポ（＝スイバ)”という訳になる。しかし，デーデ大辞典の ODS を見ると，skræppe は蕗(ふき)をも指すことが分かる．また，デーデ辞典の NDO では skræppeblad は「特に蕗の葉を指す」と明示されている．したがって，村井氏の指摘するように「秋田フキ」のような蕗を連想すれば上のくだりは十分うなずけるものとなろう．アンデルセンの上記作品の訳者はスカンポという植物を知らなかったのであろうが，それならば，百科辞典などで一度スカンポを確かめておけば上のような誤訳は起こらなかったと言えよう．

外国語の動植物や物などの名称を日本語に訳すときに，その対象物を知らないことがあるが，その場合にはよほど慎重にならなければいけないことは言うまでもないであろう．また，その対象物を知っていても，それを日本語でどう呼ぶのか分からないことがある．それが日本にない場合には非常に困る．

本稿では，デー日辞典を編纂すると仮定して，動植物の代表として海水魚類を取り上げ，魚類の専門家ではない，文系の辞書編纂者がそれらの訳語を，誤訳をすることなく，どういう方法で調べ，どの程度まで提示すれば良いかを検討する．付録として，これらデンマーク語の海水魚類名称に相当するスウェーデン語とノルウェー語の名称も示す．

2．誤訳の原因

デンマーク語の単語を日本語に訳す場合に，魚類名称あるいは動植物の名称に限らず，その対象物を知らなかったり，知っていてもそれが日本には存在しないものであり，そのために日本語でどのように呼ぶのかが分からないことが多々ある．誤訳は特にこのような場合に生じる可能性があり，その原因にはいくつかのものが考えられる．以下では，その原因とはどのようなものであるのかを考察し，将来，同様の間違いを犯さないように注意を喚起したい．

2.1. 勝手な想像に起因する誤訳

現在のところ本格的なデンマーク語－日本語辞典は存在しないが，語彙集と辞書の中間的なものは 1993 年に大学書林から刊行されている．これは『デンマーク語辞典』(＝『デ和』) と呼ばれ，見出し語数は約 5 万語である．この『デ和』はデンマークの国語辞典である NDO をもとにしており，様々な物の名称も収録している．

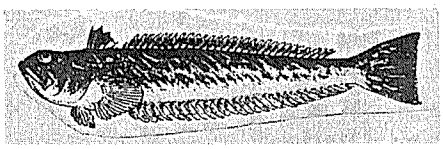
ある時この『デ和』をめくっていて pirk という語で目が止まった．『デ和』の説明によると pirk は「バナナ形をした魚を突く小さな道具」であるという．魚を突く小さな道具でバナナ形をしたものとはどのような道具であろうか，想像がつかない．どこからそのような訳（説

明）が出てきたのか，すぐには理解できない．このpirkとは，魚釣りの道具で，疑似餌ことルアーの一種であり，デンマークでは①舟などから海底近くに沈ませてタラなどを狙うタイプのものと，②海面近くを引っ張ってダツやサバを狙うタイプの２種類がある．これらは最近日本ではメタルジグと呼ばれているようである．①のタイプのものにはバナナの形に似たのもあるから「バナナ形をした」というのは納得できるし，『デ和』のもとであるNDOの説明が「バナナの形した漁具の名称」“betegnelse for bananformet fiskeredskab”となっている．一方，「突く…道具」という説明は理解しがたい．しかし，pirkの次にくる見出し語であるpirkeという動詞を見ると，「なるほどと」納得するであろう ── 納得といっても，「なぜこのような訳(説明)が出てきたのか」ということが了解されるという意味であるが．つまり，pirkeの訳の一つに「(棒などで）突つく」というのが挙げられており，『デ和』の編著者はpirkeに関するNDOの説明に動詞pirkeの意味を勝手に加えることで「バナナ形をした魚を突く小さな道具」を勝手に想像したのであろう.[5] しかし，この説明からは，本稿の筆者なら，この道具の具体的なイメージを頭に描くことは困難である．

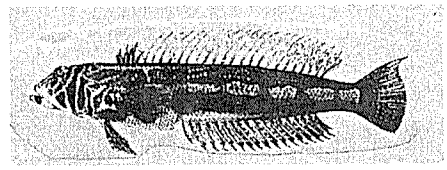
ところで，デンマーク語の海水魚類名称が日本語に訳されているのを目にすることができるのは，現在のところ，『デ和』のほかに，デンマークにあるほとんどすべての魚屋の店内に貼られているであろうと思われるポスターがある．このポスター（= SFYB）はScandinavian Fishing Year Bookが発行しているもので，北海に生息すると思われる（cf. FNS）60種類の海水魚の絵があり，その下に学名(ラテン語)[6]，デンマーク語，スウェーデン語，ノルウェー語，英語，ドイツ語，フランス語，スペイン語などに加えて日本語の名称も載せられている．これら２点にのほかに，1996年にデンマーク日本人会が出した『デンマークに暮らす』(=『デ暮らす』）には30種類の海水魚の名称が見られる．

さて，デンマークの海にはfjæsingという魚がいる．これは北海に生息する魚のうちもっとも有毒な魚として知られるが，その名前は聞いたことがあっても,[7] 実際には見たことがないデンマーク人が大勢いる．大小２つの種類があって，日本のオニオコゼと同様，美味らしいが，デンマーク人は食べず，フランスなどに輸出しているという（FNS: 57）．このfjæsingの日本語訳が上記の３点で見られ，『デ和』:〈とらぎすの類〉，SFYB：〈Toragisu〉，『デ暮らす』:〈とらぎす〉となっている．しかし，トラギスというのは，筆者の生まれ育った瀬戸内沿岸ではトラハゼと呼ばれ，非常に一般的な食用魚であり，筆者もよく知っているが，毒はなく，大きさ，形，色の点で，筆者も釣り上げたことのあるfjæsingとは大いに異なる．では，上記３点の〈とらぎすの類〉云々という訳語はどこから生じたのであろうか．その背景はこうであろう，つまり，fjæsingの訳語に困った人が，『日海魚』の美しい図版を眺めていくと，図版102でトラギスの挿絵に目が止まる．トラギス（トラハゼ）は魚屋で見るときも，自分で釣り上げたときも，背鰭，腹鰭，臀鰭などは立てておらず，ねているが，図版102では背鰭，腹鰭，臀鰭をいっぱいに広げた姿がある(下の挿絵参照)．その姿を見ていると，トラギスはfjæsingに似ていると思い，fjæsingはトラギスであろうと思ってくる．しかしそれは誤りであるということは両者の学名を見れば明白である：トラギス（*Parapercis pulchella*), fjæsing (*Trachinus draco*, *Trachinus vipera*).（また，fjæsingの学名の属名*Trachinus*トラキヌス

の響きががトラギスの響きと似ているのも，〔fjæsing＝トラギス〕とする原因になっているのかも知れない.）



fjæsing（FKF: 116 より）



トラギス（『日海魚』第 102 図版より）

以上，pirk と fjæsing の場合を例にして，勝手な想像が誤訳の原因になるケースを見たが，同様な誤りを犯さないように気をつけなければならない.

2. 2. 辞書を引く過程で生じる誤訳

上で挙げた『デ和』，SFYB，『デ暮らす』の３点に頼らずに訳語を探そうとするとデンマーク語－英語辞典，英和辞典やデンマーク語－ドイツ語辞典，独和辞典を用いるのが一般的ではないであろうか．この方法で訳語を探す際に，その作業過程のどこかで誤りを犯す危険がある.

かつて，デンマーク語で rødfisk という魚が「ハドック」と訳され，「rosefish とも言う」という注がつけられているのを目にしたことがある．ハドックとは北西大西洋に生息するタラの仲間であるが，rosefish とはメバルの仲間であるから，「rødfisk はハドックであり，rosefish とも言う」というのは理屈に合わないことになる．ではなぜこのようなことが起こるのであろうか.

rødfisk はデンマーク語－英語辞典 DER で調べると，redfish, rockfish とあり，これらは『英和大ラ』によるとメバルの仲間であることが分かるが，『英和中』には載っていない．rødfisk をデンマーク語－英語大辞典 DES で調べると，Norway haddock, rosefish とあり，『英和中』には rosefish は載っておらず，Norway haddock も載っていない，しかし，haddock は載っており，「①ハドック（北大西洋産のタラの一種），②ハドックの身」という２つの意味がある．そこで，先に見た訳者は，rødfisk は Norway haddock ということからノルウェーの近くに生息する haddock のことと考えて，ハドックとしたのであろう．しかし，実はここで〔haddock＝ハドック〕としたのがいけなかった．英語の Haddock には，『英和大ラ』によると，「①北大西洋産タラ類の食用魚，② メバルの一種 *Sebastes Marinus* (rosefish)」という２つの意味があるからである．このように『英和大ラ』を見ていれば，〔rødfisk＝ハドック〕という誤訳は生じていなかったことは明らかである.

SFYB のポスターを見ていると，pighvar というカレイやヒラメの仲間の魚に目が止まる．この魚は，形こそ日本のヒラメよりもずっと丸みを帯びているものの，大型魚で，目が体の左側にあり，美味で高級魚である点から，ヒラメを思い起こさせるが，SFYB にある日本語では Meganemongara となっている．『デ暮らす』でも「ひらめ（めがねもんがら）」となって

いる．「めがねもんがら」とはフグ目モンガラカワハギ亜目モンガラカワハギ科のメガネハギのことであろう．pighvar とは似ても似つかぬ魚である．どうしてそうなったのであろうか．それは pighvar に対応する英語の turbot に鍵がある．turbot は平たい魚を指すようで，『英和大ラ』によると「①ヒラメ科ホシダルマガレイ属の一種，②各種の扁平な魚，③ = triggerfish: モンガラカワハギ：モンガラカワハギ属 *Balistes* および近縁属の，体高の高い，側偏した魚の総称」とある．pighvar を実際に知っていれば自動的に①の意味をとるであろう．なぜ横に薄い魚である③を選んだのか疑問である．『デ暮らす』のほうは，pighvar を知っていたと思われるのに，「ひらめ（めがねもんがら）」としたのは，SFYB にある Meganemongara がモンガラカワハギの一種だとは知らずに，これを訳語に追加したものと思われる．

以上，２つのケースから，辞書を調べて行く際に，対象の魚をイメージしておかないと，とんでもない訳語を選択してしまい，そのものとはまったく違った魚になってしまう危険があることが分かる．

2.3. 英和辞典，独和辞典の間違い・不備に起因する誤訳

havkat という魚がいる．直訳すると「うみねこ」であるが日本語でいう海鳥のウミネコではない．ほうきの柄でも噛み砕いてしまうと恐れられる鋭い歯をもち，体長１メートル近くにもなる魚である．havkat という名称は顔のイメージからきているのではないかと思われる．この仲間は北海道以北の太平洋にも生息しており、オオカミウオと呼ばれる．しかし，『デ和』:「なまず」，SFYB :「Taiseiyo-namazu」，『デ暮らす』:「なまず」となっており，３点ともに「なまず」であるとする．その誤訳の背景は次のようだと推測される．

まず，DER で havkat を引くと，catfish となっている．次に catfish を『英和中』で引くと，「なまず」となっている．したがって，〔havkat = なまず〕となったのであろう．SFYB は気が引けたのかどうかは知らないが，「Taiseiyo-」という表現を追加している．〔havkat = なまず〕という訳語は，DER と『英和中』を見るかぎりは間違っていないように思える．では，何がいけなかったのか．それは，『英和中』に catfish のもう１つの意味である「オオカミウオ」がなかったのが原因であろう．あるいは，DER に havkat のもう１つの英語訳である wolffish がなかったのが原因であるとすることができるかも知れない．この場合，DER の不備のほうが『英和中』の不備よりも，罪が大きいのではないかと筆者には思えるが，いずれにせよ，辞書の不備から，場合によっては辞書の誤りから，誤訳が生じる危険があり得るので，複数の辞書，それも大きい辞書を参考にすべきであることが分かる．

３．訳語の望ましい探し方

3.1. 複数の辞書を使う

魚類名称などの日本語訳を考えるときには，複数の辞書を使うべきであることを述べたが，sværdfisk などはどの辞書を調べても〈メカジキ〉という訳語にたどり着く．『デ和』:〈めかじき〉，SFYB :〈Mekajiki〉，『デ暮らす』:〈めかじき〉; DER, DES: swordfish, 『英和中』:〈メカジキ〉，『英和大ラ』:〈メカジキ〉; DTR, DTS: Schwertfisch, 『独和研』:〈メカジキ〉，『独和

郁』:〈めかじき属；めかじき科〉,『独和大』:〈メカジキ〉. これはメカジキが世界の海（暖海域）に生息し，種類が同じであることが要因であると思われる（北海で見られるメカジキも太平洋で見られるメカジキも同種で，学名を *Xiphias gladius* という）. この sværdfisk の場合には，DER と『英和中』との２点で十分であるかのように思えるが，他の魚の場合にはそうはいかない.

hornfisk を見てみよう.『デ和』:〈だつ，ようじうお，かみさより〉, SFYB :〈Datsu〉,『デ暮らす』:〈だつ〉; DER, DES: garfish,『英和中』: なし,『英和中６』: = gar.〈ガー，ガーパイク；ダツ〉,『英和大ラ』: = gar.〈1. 鱗骨魚：*Lepisosteus* 属の淡水魚…；2. = needlefish 1. [needlefish 1. ダツ，ダツ科 *Belonidae* の魚の総称；2. ヨウジウオ]〉; DTR, DTS: Hornhecht,『独和研』: なし,『独和郁』:〈だつ科（硬骨魚綱の一科）〉,『独和大』: なし.

『デ和』の〈かみさより〉というのはよく分からないが，サヨリとカミソリウオが混同されたものである可能性が高い.〈ようじうお〉とともに needlefish の訳語であろうが，正しいとは言えない. また,『英和大ラ』の〈1. 鱗骨魚：*Lepisosteus* 属の淡水魚〉を選択しないのは，hornfisk の学名が *Belone belone* であることから理解できるであろう. デンマーク語の hornfisk が〈ガー，ガーパイク〉ではないということは,『英和中６』を見るだけでは分からない. なぜならば，hornfisk が〈ガー，ガーパイク〉と〈ダツ〉のどちらであるかを判断する基準となる学名が『英和中６』には付せられていないからである. このことから，辞書には（語彙集や小辞典でないかぎり）学名のラテン語を付しておく必要があることが分かるであろう. 英和辞典を見るかぎり，辞書は大きい方が情報が豊富で，正確であるようであるが，独和辞典を見ると，必ずしもそうではないことが分かる. hornfisk に対応するドイツ語の Hornhecht は『独和大』には載っていないが,『独和郁』には載っているからである. 英語に関して言うと，はじめから英和大辞典を調べれば，中辞典のほうは調べる必要がないようであるが，ドイツ語の場合には同じことは言えないようである. ただし英語の場合でも,『英和中』の第６版である『英和中６』は，学名が付されていない点に不満は残るが，魚類名に関しては大幅に改訂されており，新しい情報が盛り込まれているようであり，時には『英和大ラ』よりも優れていることがある. 例えば, lange という魚は英語で ling というが，これは『英和中』では〈タラ科の食用魚〉,『英和大ラ』では〈体の長いタラ科の食用魚〉となっているのみで，訳語としては不十分である感じがするが,『英和中６』では〈クロジマナガダラ，リング（北ヨーロッパ産のタラ科の食用海産魚）〉とある. リングというのは英語をカナ読みにしただけであるが，クロジマナガダラは標準和名となっているようであるので，こちらの方が適切な訳語であろう.

3.2. 学名を基準にする

多数の英和辞典や独和辞典を用いても，訳語がまったく分からない場合がある. 例えば，hellefisk は英語では (DER, DES) Greenland halibut，ドイツ語では (DTR, DTS) Schwarzer Heilbutt である. Greenland halibut は『英和中』,『英和中６』,『英和大ラ』のどれにも載っていないし，Schwarzer Heilbutt も『独和研』,『独和郁』,『独和大』のどれにも載っていない.

これでは hellefisk の訳語は見出せない．一方，halibut 自体は『英和中』,『英和中６』,『英和大ラ』に載っており，オヒョウのことであると分かるし，ドイツ語の Heilbutt も『独和研』,『独和郁』,『独和大』からオヒョウであると分かる．そこで hellefisk は英語名 Greenland halibut から〈グリーンランドオヒョウ？〉としても良いのだろうか．それともドイツ語名 Schwarzer Heilbutt から〈クロオヒョウ？〉とでもするのだろうか．まさにこのような方法を採ったと考えられるのだが，『デ和』では〈(グリーンランド)おひょう〉,『デ暮らす』では〈グリーンランハリバ〉となっている．しかし，動植物の名称の訳語には，標準和名が存在するかぎり，それを用いるべきであると筆者は考えるが，〈グリーンランドオヒョウ？〉あるいは〈クロオヒョウ？〉は標準和名なのであろうか．もしもこれらが標準和名でないとすれば，訳語として勝手に用いるのは避けるべきである．そこで，hellefisk の学名を見れば，*Reinhardtius hippoglossoides* となっている（ODS, NDO, SNNDO, DES, FKF など）．一方，『日海魚』を見ると，（偶然に）hellefisk と同属同種の魚が日本近海にいることが分かる．それはカラスガレイであり，学名が *Reinhardtius hippoglossoides* となっており，hellefisk とまったく同じである．したがって，〔hellefisk = カラスガレイ〕とすることができる．この点，SFYB は hellefisk を正しく〈Karasu-garei〉としている．この hellefisk のように，日本近海にも同種の魚がいれば，その標準和名をそのまま訳語にすることができるのであるが，実際には北欧の海に生息する魚で日本近海でも観察されるものは非常に稀なようである．

hellefisk と同じく大型魚であり，しかもカレイ目の中で最大である helleflynder は，学名を *Hippoglossus hippoglossus* というが，これと同属の *Hippoglossus stenolepis*，すなわち，オヒョウが北太平洋などの日本近海にいる．同属ではあるが，種が異なるので，helleflynder をオヒョウとするのは正確さに欠ける．このように，日本と北欧（ヨーロッパ）には同属異種の魚は多数いるようであるが，その多くは辞書類を見ても，標準和名が分からない場合がほとんどである．しかし，中には標準和名が分かるものもある．例えば，日本のニシン（*Clupea pallasii*）に対する sild（*Clupea harengus*），マアジ（*Trachurus japonicus*）に対する hestemakrel（*Trachurus trachurus*），ウナギ（*Anguilla japonica*）に対する ål（*Anguilla anguilla*）がそうで，sild はタイセイヨウニシン（『電日百』），hestemakrel はニシマアジ（『英和研６』），ål はヨーロッパウナギ（『電日百』）という和名で呼ばれているようである．ニシマアジの“ニシ”はヨーロッパウナギの“ヨーロッパ”と同じか，あるいはタイセイヨウニシンの“タイセイヨウ”と同じことを表していると思われるが，これは学名のように和名を最初につけた人の方針の違いによるのであろうか．いずれにせよ，helleflynder の標準和名がはっきりとしない現段階では，筆者が勝手に和名をつけるわけにはいかないが，“タイセイヨウ”を括弧に入れて暫定的に〈(タイセイヨウ)オヒョウ〉としておくことにする．ところで，helleflynder の訳語として〈オオヒラメ〉というのを見たことがあるが，この訳語は避けるべきであろう．確かにオヒョウは「オオヒラメともよばれてヒラメの代用にされ」（『電日百』）ることもあるし，また漢字で大鮃と書くこともあるが，「体の右側に目があるカレイの仲間で」『電日百』）あり，決してヒラメ科ではない．このように，訳語には商業用の名称は用いるべきではないであろう．また地域による方言名も避けるべきである．

3.3. 非専門家による訳語選択の限界

§3.3 で helleflynder の訳語を暫定的に〈(タイセイヨウ)オヒョウ〉としたが，本当にそうして良いのかは魚類の専門家ではない筆者には判断できない．torsk (*Gadus morhua*) と日本のマダラ (Gadus macrocephalus) はともにタラ科に含まれ，さらに *Gadus* という同じ属に含まれる．また，『電日百』には「大西洋産マダラ類 *G. morhua*」とあるので，torsk を〈タイセイヨウマダラ？〉としても良いのだろうか．また，同じくタラ科の lubbe (*Pollachius pollachius*/ *Gadus pollachius*) は英語では pollack というが，『電日百』には「スケトウダラに相当する大西洋産のポラック pollack」という表現があることから，lubbe を〈タイセイヨウスケトウダラ？〉としても良いのだろうか．

また，§2.2 で言及した rødfisk は学名を *Sebastes marinus* というが，*Sebastes* という属に含まれる魚は日本にはメバル，エゾメバル，ウスメバル；バラメヌケ，サンコウメヌケ等々多くの種類がいて，果たして rødfisk は〈メバル属の魚〉とすれば良いのか，〈メヌケ属の魚〉とすれば良いのか筆者には判断ができない．

また，同じく§2.2 で言及した pighvar の学名は *Rhombus maximus* (FKF, FFN), *Psetta maxima* (FKF), *Scophthalmus maximus* (NDO, SNNDO) の３つがあり，非常に混乱する．*Psetta maxima* が正しいとすれば，『英和大ラ』の turbot の説明「ヒラメ科ホシダルマガレイ属の一種 *Bothus* (*Psetta*) *maxima*. ヨーロッパ産」から，〈ホシダルマガレイ属の魚〉になるであろう（しかし，この場合でも，ホシダルマガレイ属はヒラメ科ではなく，ダルマガレイ科であろうから，『英和大ラ』の説明は完全ではない）．しかし，FKF よりも発行年数の新しい NDO や SNNDO の方が新しい分類なのであろうから，*Scophthalmus maximus* で訳語を考えなくてはならないであろう．しかし *Scophthalmus* 属は『日海魚』を見ても，日本には生息しない種類のようであり，その標準和名は判明しない．どうすれば良いのであろうか．

こういった問題点は魚類の専門家の協力を得ないと解決できないもののように思える．

3.4. 救世主の出現

本稿の執筆を筆者が考えたのは４年前のことである．しかし，§3.3 で見たような解決不可能な問題が幾つも残ったので，本稿は今日まで日の目を見ることがなかった．しかし，昨年末に『世界魚』，すなわち『魚の分類図鑑 ── 世界の魚の種類を考える』が出版され，これを通して FOW，すなわち *Fishes of the world*. 3rd edition を知った．また，今年上旬に『商用魚』，すなわち『商用魚介名ハンドブック』が出版された．

『商用魚』は外国から日本に入ってくる魚の名称が学名と和名で示してある．商用魚介名であるから，食用の魚介を扱っており，北欧産の海水魚のうち食用になるものはほとんどが扱われているようである．『商用魚』の最大の利点は，学名が分かれば，英和辞典などを介さずに直接和名を調べることができることである．§3.3 で言及した torsk は，『商用魚』によると，「タイセイヨウダラ」（『商用魚』では「大西洋ダラ」となっているが，和名はカタカナ書きをするのであるから，これは印刷ミスであろう．）となっている．一方，helleflynder は「ハリバット，オヒョウ」となっているが，筆者にはタイセイヨウオヒョウのほうが好まし

いと思えるので，タイセイヨウを括弧に入れて〈(タイセイヨウ)オヒョウ〉というように示すことにする．rødfiskは『商用魚』によると「メバル[メヌケ]種」となっている．ちなみに，『商用魚』が「～種」とするときには，～属に含まれる一種のことだと解釈できる．つまり，「メバル種」となっていれば，メバル属 *Sebastes* の一種であるという意味であろう．

新しい分類によると思えるpighvarの学名 *Scophthalmus maximus* は『商用魚』には載っていない．このことから，『商用魚』は最新の分類を採用してはいないことが分かる．最新の分類というのは，現在のところ，FOWをもとに検討した『世界魚』を見なくてはならないであろう．FOWも『世界魚』も科のレベルまでしか載っておらず，属や種は調べられないが，最新の分類が分かるという点で非常に有益な文献である．FOWと『世界魚』によれば，pighvarはカレイ目カレイ亜目スコプタルムス科に含まれることが分かる．『世界魚』は，和名のない分類群の名称に関しては学名のラテン語をそのままカタカナ書きにしたものを使うとしている．その場合，『世界魚』も言っているように，ラテン語は古典ラテン語の発音をカナ表記するのが良いであろう．そういうわけで，pighvarの訳語は，〈スコプタルムス科の魚〉としただけではどのような魚なのかイメージがわきにくいであろうから，〈カレイ目カレイ亜目スコプタルムス科の魚〉あるいは〈カレイ亜目スコプタルムス科の魚〉とするのが良いと思われる．

鳥類名称の訳語を考える場合には『世界鳥』，すなわち『世界鳥類和名辞典』の1冊があれば十分であろう．学名の載っているデンマークの鳥類図鑑（例えばFLF）から直接和名が調べられるからである．『商用魚』が非常に有益であることはすでに言及したが，世界のすべての魚類が扱われているわけではない．魚類に関しても『世界鳥』同様の辞典の刊行が待ち遠しいものである．

4．デンマーク語の海水魚類名称の日本語訳

FKFは185種類のデンマークの魚を扱っており，そのうち約40種類が淡水魚であるから，残り約145種類が海水魚ということになる．北海を広く探せば，デンマークの魚の数はもっと多くなるであろう．本稿では，紙数の関係もあり，SFYBにある60種類に，筆者が必要と思う1種 (tobis) を加えた61種類を対象とし，それらの訳語を検討する．

4.1．英和辞典，独和辞典と比較しながら

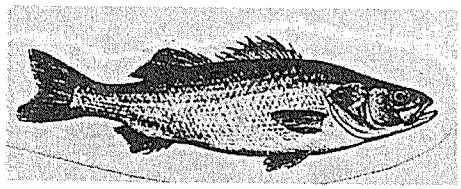
本稿でこれまで考察してきたことから，学名が分かれば，『商用魚』とFOWと『世界魚』の3冊さえあれば，ほとんどの場合，訳語の決定ができることが分かった．しかし，§4.1では，メジャー言語である英語とドイツ語の辞典類で魚類名称がどのように訳されているのかを見るために，英和辞典や独和辞典の記述等も示して，訳語を検討する．なお，ここで示すのは，『デ暮らす』に挙げられている30種類のうちの数種類にとどめる．

(1) デ bars (= havbars)	ス havsabborre	ノ havåbor; havabbor
英 bass; sea perch	独 Wolfsbarsch; Seebarsch	仏 bar commun
『英和中』bass: ×バス(スズキの類)[A]；sea perch: なし[B]		
『英和中６』bass: ×バス，ブラックバス；sea perch: なし		
『英和大研』×スズキ目スズキ科とサンフィッシュ科のうちブラックバス属（*Micropterus*）の魚の総称. b. ×= perch 1a ［perch: 1a. ×パーチ（*Perca fluviatilis*）（ヨーロッパ産パーチ属の淡水魚）.］. 2. スズキ科の海産食用魚の総称（black seabass, stripped seabass など）. [black sea bass: 1. ×米国大西洋沿岸に生息するスズキ科の食用魚（*Centropristes striatus*）. 2 = giant bass] [giant bass: ×米国 California 州産のスズキ科の大型食用魚（*Stereolepis gigas*）		
『英和大ラ』bass: 1. ×バス：スズキ目クロマス科 *Centrarchidae* の *Micropterus* 属の淡水産食用魚の総称；コクチクバス，オオクチバスなど. 2. ×（もと）（ヨーロッパ産の）スズキ目の魚 (European perch) *Perca fluviatilis*；sea perch: なし		
『独和研』なし	『独和郁』なし	『独和大』なし
『デ暮らす』すずき	『デ和』なし	SFYB: Suzuki-no-rui
学名：*Morone labrax, Dicentrarchus labrax*		
和名：ニシスズキ（『仏和中』ニシスズキ［地中海・東大西洋産の食用魚：×スズキ科］［新しい分類ではモロネ科］		
訳：ニシスズキ，すずき[C]		

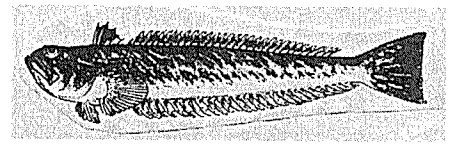
デ＝デンマーク語，ス＝スウェーデン語，ノ＝ノルウェー語. (A) デンマーク語の訳としては間違っている，あるいは見当はずれだと思われるものには，×を付してある. (B) 見出し語として取り上げられていない. (C) 日常の会話や小説の翻訳など，生物学的に厳密さを要求されない場合の略式の訳とし用いても良いと思われる訳語.

(2) デ fjæsing	ス fjärsing	ノ fjesing
英 weever	独 Petermännchen	仏 vive
『英和中』なし	『英和中６』なし	
『英和大研』トラギスに似たハチミシマ属 *Trachinus* の海産食用魚の総称（ハチミシマ *T. draco*, マムシミシマ *T. vipera*）		
『英和大ラ』スズキ目 *Trachinidae* 科の小形の海産魚の総称；greater weever (*Trachinus draco*), lesser weever (*T. vipera*) の２種；ヨーロッパ産；背に有毒なトゲがある.		
『独和研』なし	『独和郁』×みしまおこぜ亜目に属するヨーロッパ産の海水魚の一種	
『独和大』トラキヌス（とげのあるキスに似た魚で聖ペテロにささげられる）		
『デ暮らす』×とらぎす	『デ和』×とらぎすの類	SFYB: ×Toragisu
学名：*Trachinus draco, Trachinus vipera*		
和名：スズキ目ワニギス亜目トラキヌス科トゲミシマ属（『世界魚』と『商用魚』による）		
訳：スズキ目ワニギス亜目トラキヌス科トゲミシマ属の２種の魚[A]		

(A) 訳語がトラキヌスのようなラテン語のカナ表記や，トゲミシマのような，一般の辞典や事典類には載っていそうもないものの場合には，科の上のグループである亜目あるいは目の名称も付すことにする.

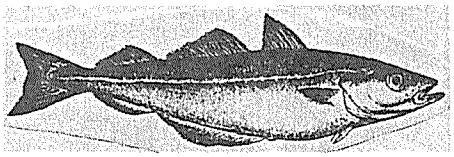


bars 20-40 cm (100 cm)[8]

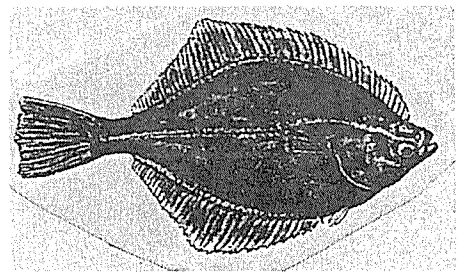


fjæsing 20-30 cm (43) cm

(3) デ sej (= gråsej)	ス sej, gråsej	ノ sej
英 coalfish, pollack	独 köhler, Blaufisch	仏 lieu noir
『英和中』なし	『英和中６』なし	
『英和大研』coalfish: 1. = pollack b. 2. ×体色の黒いギンダラの類の魚類の総称. pollack: タラ科ポラック属 (*Pollachius*) の下あごが突出している数種のタラの類の総称：a. ポラック(*P. pollachius*) (ヨーロッパ沿岸種). b. セース (*P. virens*) (北大西洋産；saithe, coalfish とも言う).		
『英和大ラ』coalfish: 1. = sablefish: ×ギンダラ（銀鱈）*Anaplopoma fimbria*: 北太平洋の大形食用魚. 2. = pollack: ポラック：タラ科ポラック属 *Pollachius* の海産魚の総称；北大西洋産沿岸産；食用；pollock ともいう.		
『独和研』köhler: セース（タラ科の黒い魚）；Blaufisch なし		
『独和郁』köhler: (北大西洋産の)たら(鱈)科の魚；Blaufisch なし		
『独和大』köhler: タラ(鱈)科の食用魚(燻製などにした肉は Seelachs として扱われる)；Blaufisch: アミキリ（？）		
『デ暮らす』たらの類	『デ和』×黒だら	SFYB: なし
学名：*Pollachius virens, Gadus virens*		
和名：シロイトダラ（『商用魚』による）		
訳：シロイトダラ		



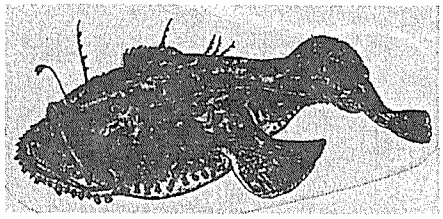
sej　70-100 cm (120 cm)



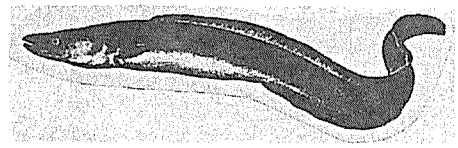
skrubbe　30-60 cm

(4) デ skrubbe	ス skrubba, skrubbskädda	ノ skrubbeflyndre
英 flounder	独 Flunder	仏 flet
『英和中』×カレイ目の魚の総称（カレイ科とヒラメ科の魚類：食用）		
『英和中６』×カレイ目の魚の総称（カレイ科とヒラメ科の魚類：食用）；ヌマガレイの一種（ヨーロッパ産）		
『英和大研』×カレイ目の魚の総称 (flatfish) ×カレイ科とヒラメ科の魚類)		
『英和大ラ』1. ヌマガレイ *Platichthys flesus*: 海産，食用；ヨーロッパ産. 2. ×ヨーロッパ産以外のカレイ類とその近縁種の総称. 3. ×(広義に)カレイ：シタビラメ (sole) 以外のカレイ類の総称.		
『独和研』カレイ（鰈）		
『独和郁』ぬまがれい		
『独和大』カレイの一種		
『デ暮らす』かれいの類	『デ和』×ひらめの類	SFYB: Karei
学名：*Platichthys flesus* ×(旧分類では *Pleuronectes flesus*)		
和名：ニシカワガレイ，ニシヌマガレイ（カワガレイはヌマガレイの別称）		
訳：ニシカワガレイ，ニシヌマガレイ，かわがれい，ぬまがれい		

(5) デ havtaske (= bredflab)	ス marulk	ノ breiflabb, havtaske, marulk
英 angler(fish)	独 Seeteufel	仏 bardroie, lotte
『英和中』×チョウチンアンコウ	『英和中６』×チョウチンアンコウ	
『英和大研』チョウチンアンコウ亜目の魚類の総称 (Himantolophus groenlandicus など)		
『英和大ラ』1. ×(特に)北米大西洋岸産のアンコウ *Lophius americanus* …；2. アンコウ(イザリウオ, アカグツを含む)：アンコウ目 *Pediculati* の近縁種の魚		
『独和研』なし	『独和郁』あんこう科	『独和大』アンコウ
『デ暮らす』あんこう	『デ和』なし	SFYB: Anko
学名：*Lophius piscatorius*		
和名：ニシアンコウ（キアンコウ属）		
訳：ニシアンコウ，あんこう		



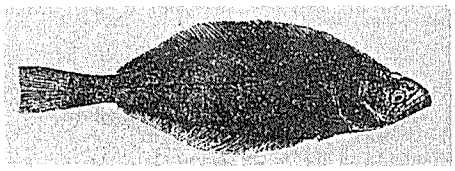
havtaske　100-135 cm (300 cm)



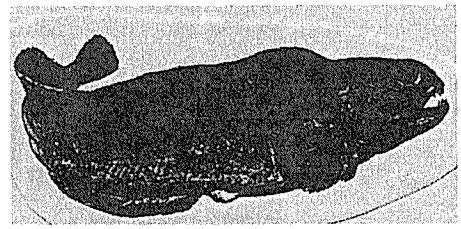
havål　150-250 cm (300 cm)

(6) デ havål	ス havsål	ノ havål
英 conger (eel)	独 Meeraal	仏 congre commun
『英和中』アナゴ	『英和中６』アナゴ	
『英和大研』1. アナゴ科の魚の総称；2. モトアナゴ *Conger conger*		
『英和大ラ』 1. ヨーロッパアナゴ，モトアナゴ …；2. アナゴ科の魚の総称		
『独和研』なし　『独和郁』(大西洋産の)くろあなご(黒穴子)		『『独和大』アナゴ（穴子）
『デ暮らす』あなごの類	『デ和』なし	SFYB: Anago-no-rui
学名：*Conger conger*		
和名：ヨーロッパアナゴ，モトアナゴ		
訳：ヨーロッパアナゴ，モトアナゴ，あなご		

(7) デ hellefisk	ス liten hälleflundra		ノ svartkveite, blåkveite
英 Greenland halibut	独 Schwarzer Heilbutt		仏 flétan noir
『英和中』なし	『英和中６』なし	『英和大研』なし	『英和大ラ』なし
『独和研』なし	『独和郁』なし		『独和大』なし
『デ暮らす』×グリーンランドハリバ			
『デ和』×(クリーンランド)おひょう			
SFYB: Karasu-garei			
学名：*Reinhardtius hippoglossoides*			
和名：カラスガレイ			
訳：カラスガレイ			



hellefisk（FFN より）　80-100 cm



havkat　40-70 cm (125 cm)

(8) デ havkat	ス havskatt	ノ havkatt
英 catfish, wolffish	独 Seewolf	仏 loup de mer
『英和中』catfish: ×ナマズ；wolffish: なし		
『英和中６』catfish: ×ナマズ；wolffish: オオカミウオ		
『英和大研』catfish: 1. ×ナマズ目の各種の魚の総称. 2. オオカミウオ (wolffish)；wolffish: 1. オオカミウオ (*Anarhichas lupus*)；×北大西洋のギンポ亜目の魚		
『英和大ラ』catfish: 1. ×ナマズ目…；2. オオカミウオ (wolffish)；3. ×猫に似た魚の総称；wolffish: オオカミウオ：スズキ目オオカミウオ科オオカミウオ属の魚の総称		
『独和研』なし	『独和郁』おおかみうお(狼魚)科	『独和大』オオカミウオ
『デ暮らす』×なまず	『デ和』×なまず	SFYB: × Taiseiyo-namazu
学名：*Anarhichas lupus*		
和名：ニシオオカミウオ（『商用魚』による）		
訳：ニシオオカミウオ，おおかみうお		

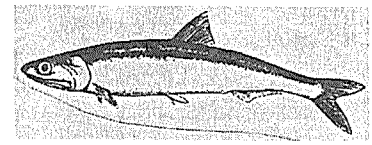
(1) の bars から (8) の havkat までの表から，正確な和名を求めるには『英和中』や『独和研』や『独和郁』といった中辞典はあまり，あるいはほとんど役に立たないことが分かる．この点に関しては『独和大』もこれらの中辞典と大同小異である．中辞典や『独和大』には学名が示されていないこともマイナス点となっている．それに対して，執筆者や校閲者を多数抱えている『英和大研』や『英和大ラ』は，予想通りに，学名もきちんと示されていることが多く，相当に詳しい情報が得られることが分かる．とは言うものの，辞書の発行時期を考慮すると，時には辞書の内容が魚種のその後の分類上の変更に対応していないということなどもあり，完全に信用できるかどうかは疑問の余地があろう．

4. 2. 残りの魚種

§4. 2 では，§4. 1 で扱わなかった残りの魚種を扱う．ここでは SFYB から，デンマーク語，スウェーデン語，ノルウェー語，学名，英語，ドイツ語，フランス語，日本語を示し，それに『デ暮らす』と『デ和』の記述を加えた上で、FOW，『世界魚』，『商用魚』を参考に検討した訳語を示す．

(9) デ ansjos	ス ansjovis	ノ ansjos
英 anchovy	独 An(s)chovis, Sardelle	仏 anchois commun

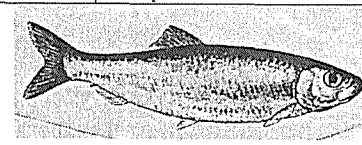
『デ暮らす』かたくちいわし
『デ和』アンチョビー（かたくちいわしの類）
SFYB: Katakuchiiwashi
学名：*Engraulis encrasicholus*
和名：カタクチイワシ，アンチョビー
訳：カタクチイワシ，アンチョビー



ansjos 12-16 cm (20 cm)

(10) デ brisling	ス skarpsill, vassbuk	ノ brisling
英 sprat	独 Sprotte, Sprott	仏 sprat

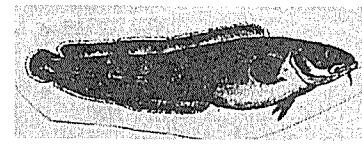
『デ暮らす』なし
『デ和』にしん類の小魚
SFYB: Nishin-no-rui
学名：*Sprattus sprattus*
和名：ニシン科ウルメイワシ属
訳：ニシン科ウルメイワシ属の魚



brisling 16-18 cm (20 cm)

(11) デ brosme	ス lubb	ノ brosme
英 torsk	独 Brosme	仏 brosme

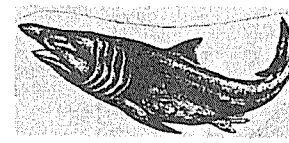
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: Tara-no-rui
学名：*Brosme brosme*
和名：タラ科ブロスメ属
訳：タラ科ブロスメ属の魚



brosme 40-70 cm (100 cm)

(12) デ brugde	ス brugd	ノ brugde
英 basking shark	独 Riesenhai	仏 requin pélerin

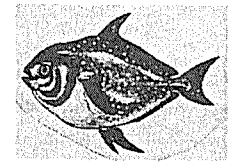
『デ暮らす』なし
『デ和』うばざめ
SFYB: なし
学名：*Cetorhinus maximus*
和名：ウバザメ，バカザメ
訳：ウバザメ，バカザメ



brugde 200-1000 cm (1500 cm)

(13) デ glansfisk	ス glansfisk	ノ laksestørje
英 opah, kingfish	独 Gotteslachs	仏 lamorir

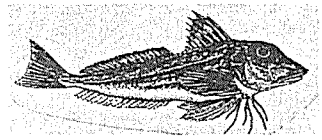
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: Mandai
学名：*Lampris guttatus*
和名：アカマンボウ，マンダイ
訳：アカマンボウ，マンダイ



glansfisk 100-150 cm

(14) デ grå knurhane	ス knorrhane, knot	ノ knurr
英 grey gurnard	独 grauer Knurrhahn	仏 grondin gris

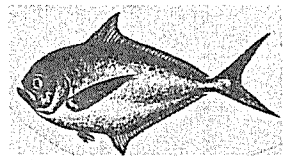
『デ暮らす』なし
『デ和』knurhane: ほうぼう
SFYB: Hobo-no-rui
学名：*Trigla gurnardus*
和名：ホウボウ科トリグラ属
訳：ホウボウ科トリグラ属の魚



grå knurhane 30-40 cm (60 cm)

(15) デ havbrasen	ス havsbraxen	ノ havbrase
英 pomfret	独 Brachsenmakrele	仏 grande castagnole

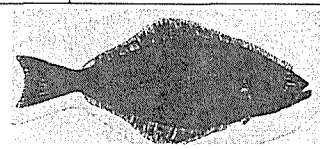
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: Hamashimagatsuo
学名：*Brama raii*
和名：シマガツオ属
訳：シマガツオ属の魚



havbrasen 50-60 cm (80 cm)

(16) デ helleflynder	ス hälleflundra	ノ helleflyndre, kveite
英 halibut	独 Heilbutt	仏 flétan

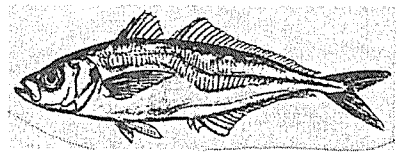
『デ暮らす』×大西洋ハリバ（大ひらめ）
『デ和』おひょう
SFYB: ×Taiseiyo-hariba
学名：*Hippoglossus hippoglossus*
和名：タイセイヨウオヒョウ
訳：タイセイヨウオヒョウ，おひょう



helleflynder 100-200 cm (470 cm)

(17) デ hestemakrel	ス taggmakrill, hästemakrill	ノ taggmakrell
英 horse mackerel	独 Bastardmakrele	仏 chinchard commun

『デ暮らす』まあじ
『デ和』なし
SFYB: Maaji
学名：*Trachurus trachurus*
和名：ニシマアジ
訳：ニシマアジ，まあじ，あじ



hestemakrel 30-40 cm

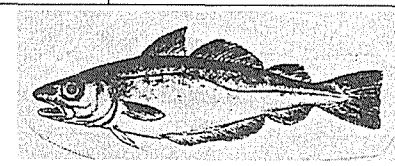
(18) デ hornfisk	ス näbbgädda	ノ horngjel
英 gar(fish)	独 Hornhecht	仏 orphie commune

『デ暮らす』だつ
『デ和』だつ，×ようじうお，×かみさより
SFYB: Datsu
学名：*Belone belone*
和名：(ヨーロッパ)ダツ
訳：(ヨーロッパ)ダツ

hornfisk 50-70 cm (90-100 cm)

(19) デ hvilling	ス vitling	ノ hvitting
英 whiting	独 Wittling, Merlan	仏 merlan

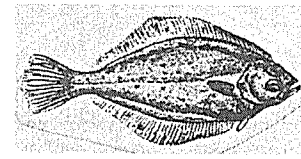
『デ暮らす』こだら
『デ和』小だら
SFYB: Kodara
学名：*Merlangius merlangus*
和名：タラ科メルランギウス属
訳：タラ科メルランギウス属の小形の魚



hvilling　20-30 cm (60 cm)

(20) デ håising	ス lerskädda	ノ gapeflyndre
英 long rough dab, american plaice	独 Rauhe Scharbe	仏 balai

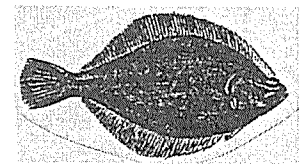
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: ×ohyo-no-rui
学名：*Hippoglossoides platessoides*
和名：グリーンランドアカガレイ
訳：グリーンランドアカガレイ



håising　20-25 cm (30-35 cm)

(21) デ ising, slette	ス sandskädda, slätta	ノ sandflyndre
英 dab	独 Scharbe, Kliesche	仏 limande

『デ暮らす』なし
『デ和』×小がれい，×すながれい
SFYB: ×Kogarei
学名：*Limanda limanda*
和名：マコガレイ属
訳：マコガレイ属の魚



ising　25-40 cm

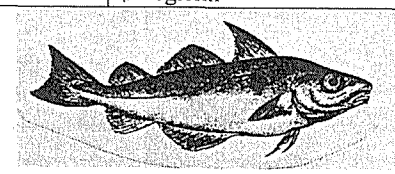
(22) デ klumpfisk	ス klumpfisk	ノ månefisk
英 Ocean sunfish	独 Mondfisch	仏 mole commun

『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: manbô
学名：*Mola mola*
和名：マンボウ
訳：マンボウ

klumpfisk　100-200 cm (300 cm)

(23) デ kuller	ス kolja	ノ hyse
英 haddock	独 Schellfisch	仏 églefin

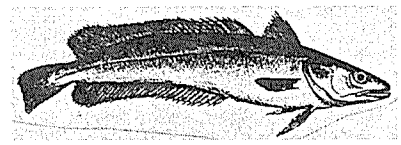
『デ暮らす』なし
『デ和』×もんつきだら
SFYB: ×Kitataiseiyo-tara
学名：*Melanogrammus aeglefinus*
和名：(タラ科メラノグランムス属)ハドック
訳：タラ科メラノグランムス属の魚，ハドック



kuller　30-50 cm (110 cm)

(24) デ kulmule	ス kummel	ノ lysing
英 hake	独 Seehecht	仏 merlin commun

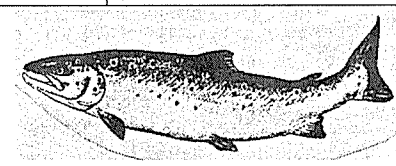
『デ暮らす』たらの類
『デ和』(たら類の)食用魚
SFYB: Tara-no-rui
学名：*Merluccius merluccius*
和名：(タラ科メルルッキウス属)メルルーサ
訳：(タラ科メルルッキウス属)メルルーサ



kulmule 50-100 cm (150 cm)

(25) デ laks	ス lax	ノ laks
英 salmon	独 Lachs	仏 saumon

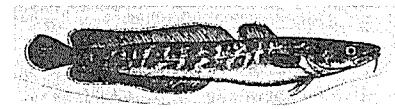
『デ暮らす』鮭
『デ和』鮭
SFYB: なし
学名：*Salmo salar*
和名：タイセイヨウサケ
訳：タイセイヨウサケ，(アトランティック)サーモン



laks 100-120 cm (160 cm)

(26) デ lange	ス långa	ノ lange
英 ling	独 Leng	仏 grande lingue

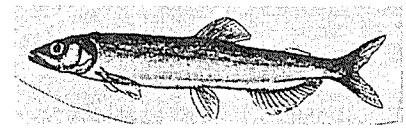
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: Tara-no-rui
学名：*Molva molva*
和名：クロジマナガダラ
訳：クロジマナガダラ



lange 80-150 cm (180 cm)

(27) デ lodde	ス lodda	ノ lodde
英 capelin	独 Lodde	仏 capelan

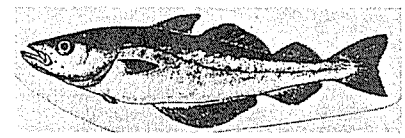
『デ暮らす』なし
『デ和』×たら釣りのえさにする小魚
SFYB: ×Kowakasagi-no-rui
学名：*Mallotus villosus*
和名：カラフトシシャモ
訳：カラフトシシャモ，ししゃも



lodde 18-22 cm

(28) デ lubbe, blåsej, lyssej	ス lyrtorsk, bleka	ノ lyr
英 pollack	独 Pollack	仏 lieu jaune

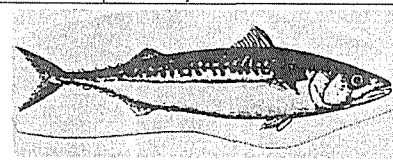
『デ暮らす』lyssej たらの類
『デ和』なし
SFYB: Suketou-dara
学名：*Pollachius pollchius*
和名：(ヨーロッパ)スケトウダラ
訳：(ヨーロッパ)スケトウダラ，すけとうだら



lubbe 40-60 cm (130 cm)

(29) デ makrel	ス makrill	ノ makrell
英 mackerel	独 Makrele	仏 maquereau commun

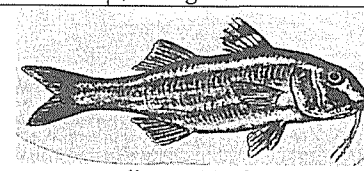
『デ暮らす』鯖（ニシマサバ）
『デ和』さば
SFYB: saba, ×hirasaba
学名：*Scomber scombrus*
和名：タイセイヨウサバ
訳：タイセイヨウサバ，さば



makrel　30-40 cm (50-62 cm)

(30) デ mulle	ス gulstrimmig mullus	ノ mulle
英 Surmullet, red mullet	独 Meerbarbe	仏 rouget barbet

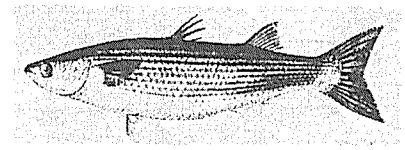
『デ暮らす』なし
『デ和』×ぼら，ひめじ
SFYB: Himeji
学名：*Mullus surmuletus*
和名：ヨーロッパヒメジ
訳：ヨーロッパヒメジ，ひめじ



mulle　30-40 cm

(31) デ multe (tyklæbet m-)	ス multe (tjockläppad m-)	ノ multe (tykkleppet m-)
英 grey mullet (thick-lipped g.m.)	独 Meeräsche (Dicklippige M-)	仏 muge à grosses lèvres

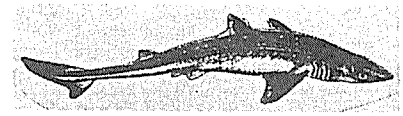
『デ暮らす』ぼらの類（×めなだ）
『デ和』×まぼら，×ひめじ
SFYB: なし
学名：*Mugil chelo*
和名：ボラ(属)
訳：ボラ属，ボラ



tyklæbet multe　50-60 cm (90 cm)

(32) デ pighaj	ス pigghaj	ノ pigghai, hå
英 spiny dogfish, spurdog	独 Dornhai	仏 aiguillat commun

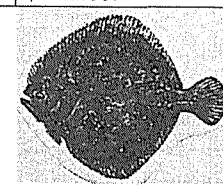
『デ暮らす』なし
『デ和』つのざめ
SFYB: Tsunozame
学名：*Squalus acanthias*
和名：アブラツノザメ
訳：アブラツノザメ，つのざめ



pighaj　90-100 cm (120 cm)

(33) デ pighvar	ス piggvar	ノ piggvar
英 turbot	独 Steinbutt	仏 turbot

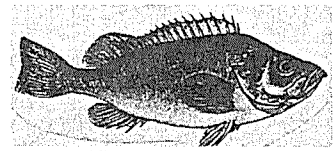
『デ暮らす』ひらめ（×めがねもんがら）
『デ和』かれいの１種，いしびらめ
SFYB: ×Meganemongara
学名：*Scophthalmus maximus*
和名：カレイ目スコプタルムス科スコプタルムス属
訳：カレイ目スコプタルムス科スコプタルムス属の魚，(広義の)ヒラメの類，ひらめ



pighvar　70-90 cm (100 cm)

(34) デ rødfisk	ス rödfisk, kungsfish	ノ uer
英 redfish, rosefish, Norway haddock	独 Rotbarsch, Goldbarsch	仏 grand sébaste

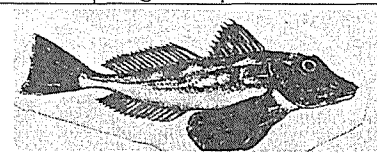
『デ暮らす』めばる（×あこう）
『デ和』なし
SFYB: ×Arasuka-sake
学名：*Sebastes marinus*
和名：メバル属
訳：メバル属の魚，（商用名称）あかうお



rødfisk 90-100 cm

(35) デ rød knurhane	ス fenknot	ノ rødknurr
英 yellow gurnard	独 roter Knurrhahn	仏 grondin perlon

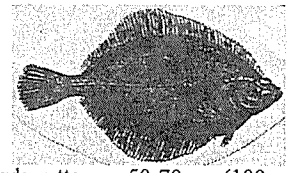
『デ暮らす』なし
『デ和』knurhane ほうぼう
SFYB: Hobo-no-rui
学名：*Trigla lucerna*
和名：ホウボウ科トリグラ属
訳：ホウボウ科トリグラ属の魚



rød knurhane 50-60 cm (75 cm)

(36) デ rødspætte	ス rödspätta	ノ rødspette
英 plaice	独 Scholle, Goldbutt	仏 plie commun, carrelet

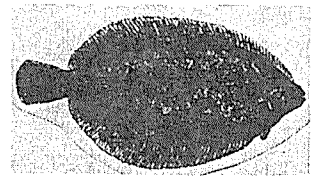
『デ暮らす』かれいの類
『デ和』つのがれい（赤い斑点がある）
SFYB: ×Hirame, Karei-no-rui
学名：*Pleuronectes platessa*
和名：タイセイヨウツノガレイ
訳：タイセイヨウツノガレイ，つのがれい



rødspætte 50-70 cm (100 cm)

(37) デ rødtunge	ス bergtunga, bergskädda	ノ lomre
英 lemon sole	独 Limande, echte Rotzunge	仏 limande sole

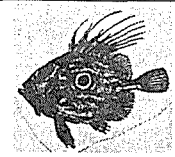
『デ暮らす』なめたがれい
『デ和』なし
SFYB: Nameta-garei
学名：*Microstomus microcephalus (kitt)*
和名：ババガレイ属，（別称）ナメタガレイ属
訳：ババガレイ属/ナメタガレイ属，ばばがれい/なめたがれい



rødtunge 20-45 cm (60 cm)

(38) デ sanktpetersfisk	ス sanktpersfisk	ノ sanktpetersfisk
英 John Dory	独 Heringskönig	仏 saint Pierre

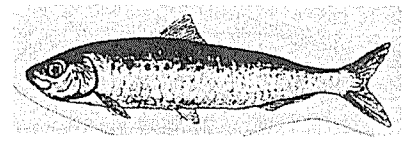
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: Matôdai
学名：*Zeus faber*
和名：ニシマトウダイ
訳：ニシマトウダイ，まとうだい



st. Petersfisk 25-60 cm

(39) デ sardin	ス sardin	ノ sardin
英 pilchard, sardine	独 Pilchard, Sardine	仏 sardine, pilchard

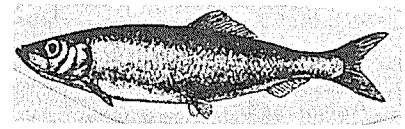
『デ暮らす』なし
『デ和』いわし；にしんの小魚などいわしに似た魚
SFYB: ×Sappa-rui
学名：*Sardina pilchardus*
和名：ニシン科サルディナ属，ピルチャード
訳：ニシン科サルディナ属の魚，ピルチャード



sardin　20-25 cm (30 cm)

(40) デ sild	ス sill	ノ sild
英 herring	独 Hering	仏 hareng commun

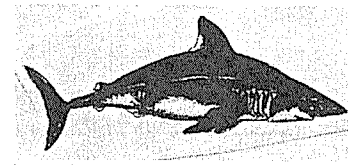
『デ暮らす』にしん
『デ和』にしん
SFYB: Nishin
学名：*Clupea harengus*
和名：タイセイヨウニシン
訳：タイセイヨウニシン，にしん



sild　17-30 cm (42 cm)

(41) デ sildehaj	ス håbrand, sillhaj	ノ håbrann
英 porbeagle	独 Heringshai	仏 requin commun, taupe

『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: Nezumizame
学名：*Lamna nasus*
和名：ネズミザメ
訳：ネズミザメ



sildehaj　100-250 cm (350-600 cm)

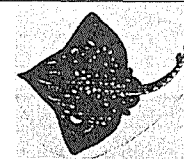
(42) デ sildekonge	ス sillkung	ノ sildekonge
英 oarfish, king of the herrings	独 Riemenfisch	仏 roi des harengs

『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: ×Ryukyunotsukai
学名：*Regalecus glesne*
和名：リュウグウノツカイ
訳：リュウグウノツカイ

sildekonge（FFN より）　max.1000 cm

(43) デ skade	ス slätrocka	ノ storskate, glattrokke
英 common skate	独 Glattrochen	仏 pocheteau blanc

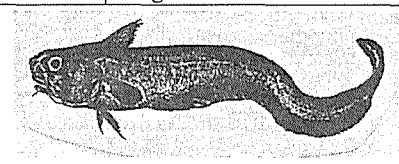
『デ暮らす』なし
『デ和』がんぎえい
SFYB: Gangiei-no-rui
学名：*Raja batis*
和名：ガンギエイ属
訳：ガンギエイ属の魚，がんぎえい



skade　80-150 cm (300 cm)

(44) デ skolæst	ス skoläst	ノ skolest
英 grenadier	独 Grenadierfisch	仏 grenadier

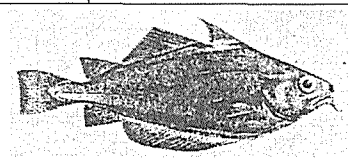
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: ×Shiira
学名：*Coryphaenoides rupestris*
和名：ホカケダラ
訳：(タラ目ソコダラ科)ホカケダラ



skolæst 80-100 cm#

(45) デ skægtorsk	ス skäggtorsk	ノ skjeggtorsk
英 pout, bib, whiting pout	独 Franzosendorsch	仏 tacaud commun

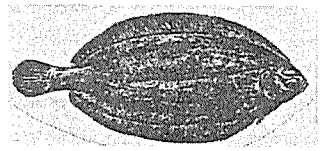
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: ×Namazu-no-rui
学名：*Trisopterus luscus*
和名：フランスダラ
訳：フランスダラ



skægtorsk（FFN より） max. 30 cm

(46) デ skærising	ス rödtunga	ノ smørflyndre
英 witch	独 Rotzunge	仏 plie cynoglosse

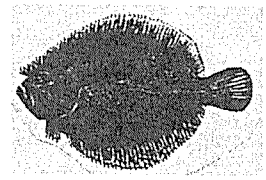
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: Akashitabirame
学名：*Glyptocephalus cynoglossus*
和名：タイセイヨウヒレグロ
訳：(カレイ科)タイセイヨウヒレグロ，ひれぐろ



skærising 35-50 cm (62 cm)

(47) デ slethvar	ス slätvar	ノ slettvar
英 brill	独 Glattbutt	仏 barbue

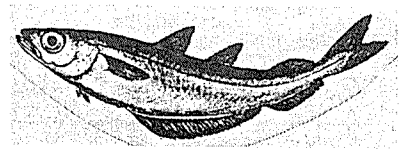
『デ暮らす』ひらめ
『デ和』ひらめ，かれい(北欧産)
SFYB: Hirame, Karei-no-rui
学名：*Scopthalmus rhombus*
和名：カレイ目スコプタルムス科スコプタルムス属
訳：カレイ目スコプタルムス科スコプタルムス属の魚，(広義の)ヒラメ類，ひらめ



slethvar 35-70 cm

(48) デ sortmund	ス kolmule, blåvitling	ノ kolmule
英 blue whiting, poutassou	独 blauer Wittling	仏 poutasou

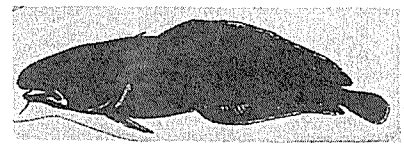
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: Tara-no-rui
学名：*Micromesistius poutassou*
和名：プタスダラ
訳：プタスダラ



sortmund 30-40 cm (50 cm)

(49) デ sortvels	ス paddtorsk	ノ paddetorsk
英 lesser forkbeard, tadpole fish	独 Froschquappe, Froschdorsch	仏 phycis, trident

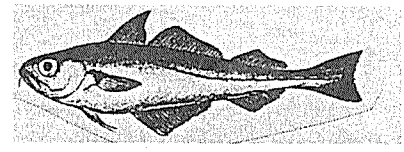
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB:なし
学名：*Raniceps ranimus*
和名：タラ目ラニケプス科ラニケプス属
訳：タラ目ラニケプス科ラニケプス属の魚



sortvels　20-25 cm (30 cm)

(50) デ spærling	ス vitlinglyra	ノ øyepål
英 Norway pout	独 Stintdorsch	仏 tacaud norvégien

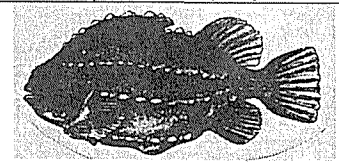
『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: ×Noruei-namazu
学名：*Boregadus [Trisopterus] ermarki*
和名：ノルウェーダラ
訳：ノルウェーダラ



spærling　15-25 cm

(51) デ stenbider	ス sjurygg, stenbit, kvabbso（メス）	ノ rognkjeks（メス）, rognkall（オス）
英 lumpfish, lumpsucker	独 Seehase	仏 lump, cycloptère

『デ暮らす』だんご魚
『デ和』だんご魚
SFYB: Dango-uo
学名：*Cyclopterus lumpus*
和名：ダンゴウオ科キュクロプテルス属
訳：ダンゴウオ科キュクロプテルス属の魚，だんごうお



stenbider　30-58 cm

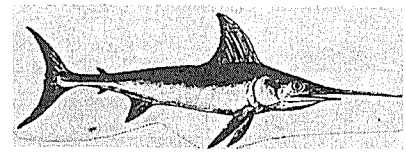
(52) デ stør	ス stör	ノ stør
英 sturgeon	独 gemeiner Stör	仏 esturgeon d'Europe occidentale

『デ暮らす』なし
『デ和』ちょうざめ
SFYB: Chozame
学名：*Acipenser sturio*
和名：チョウザメ
訳：チョウザメ

stør　100-300 cm (500-600 cm)

(53) デ sværdfisk	ス svärdfisk	ノ sverdfisk
英 swordfish	独 Schwertfisch	仏 espadon

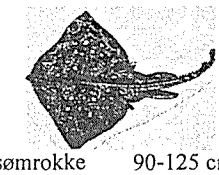
『デ暮らす』めかじき
『デ和』めかじき
SFYB: Mekajiki
学名：*Xiphias gladius*
和名：メカジキ
訳：メカジキ



sværdfisk　200-350 cm

(54) デ sømrokke	ス knaggrocka	ノ piggskate
英 thornback ray	独 Nagelrochen	仏 raie bouclée

『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB: Gangiei-no-rui
学名：*Raja clavata*
和名：ガンキエイ属
訳：ガンキエイ属の魚，がんぎえい



sømrokke 90-125 cm

(55) デ tobis, sandgrævling	ス tobis, blåtobis	ノ småsil, sandgrevling, tobis
英 sand launce, sand eel	独 Sandaal	仏 lançon

『デ暮らす』なし
『デ和』いかなご
SFYB: なし
学名：*Ammodytes lancea*
和名：イカナゴ属
訳：イカナゴ属の魚，いかなご

tobis 15-25 cm

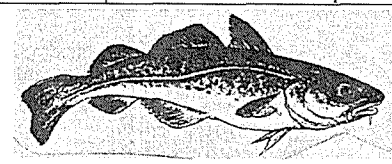
(56) デ tobiskonge	ス tobiskung	ノ storsil
英 greater sand eel	独 großer Sandaal	仏 grand lançon

『デ暮らす』なし
『デ和』なし
SFYB:Ooikanago-no-rui
学名：*Hyperoplus lanceolatus*
和名：イカナゴ科ヒュペロプルス属
訳：イカナゴ科ヒュペロプルス属の魚，おおいかなご

tobiskonge 20-32 cm

(57) デ torsk	ス torsk	ノ torsk
英 Atlantic cod	独 Kabeljau, Dorsch	仏 morue de l'Atlantique

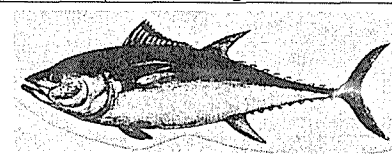
『デ暮らす』たら
『デ和』たら
SFYB: Tara, Madara
学名：*Gadus morhua*
和名：タイセイヨウダラ
訳：タイセイヨウダラ，たら



torsk 60-100 cm (150-165 cm)

(58) デ tun, tunfisk	ス tonfisk	ノ makrellstjørje
英 bluefin tuna	独 Thun, Thunfisch	仏 thon rouge

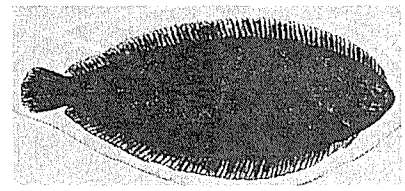
『デ暮らす』まぐろ
『デ和』まぐろ
SFYB: Maguro-no-rui
学名：*Thunus thynnus*
和名：クロマグロ
訳：クロマグロ，まぐろ



tun 100-200 cm (400 cm)

(59) デ tunge, søtunge	ス tunga	ノ tunge
英 common sole	独 Seezunge	仏 sole commune

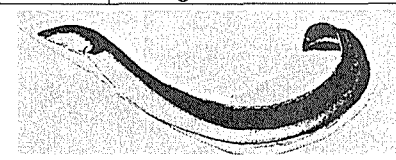
『デ暮らす』舌平目
『デ和』したびらめ，×したがれい
SFYB: Shitabirame
学名：*Solea solea*
和名：(ササウシノシタ科)ヨーロッパソール
訳：(ササウシノシタ科)ヨーロッパソール，したびらめ



tunge　40-70 cm

(60) デ ål	ス ål	ノ ål
英 eel	独 Aal	仏 anguille

『デ暮らす』うなぎ
『デ和』うなぎ
SFYB: unagi
学名：*Anguilla anguilla*
和名：ヨーロッパウナギ
訳：ヨーロッパウナギ，うなぎ



ål　40-90 cm (150 cm)

(61) デ ålekvabbe	ス tånglake	ノ ålekvabbe
英 eelpout	独 Aalmutter	仏 loquette d'Europe

『デ暮らす』なし
『デ和』胎生魚類，×胎生のぎんぽ科の魚
SFYB: ×Ginpo-no-rui
学名：*Zoarces viviparus*
和名：ギンポ亜目ゲンゲ科ゾアルケス属
訳：ギンポ亜目ゲンゲ科ゾアルケス属の魚，げんげ

ålekvabbe　25-30 cm (50 cm)

5．おわりに

本稿では英和辞典と独和辞典を参考にしつつ，『世界魚』，FOW，『商用魚』の３点を基準にしてデンマーク語の海水魚類名称の日本語訳を検討した．まず61種の魚類の(標準)和名を求め，次に訳語を考えるという方法をとった．訳語でカタカナ表記のものは(標準)和名である．ただ，日常の会話や文学の翻訳の中で，例えば torsk のことを〈タイセイヨウダラ〉と呼んだり，ål のことを〈ヨーロッパウナギ〉と呼ぶのは煩わしいので，簡単に前者を〈たら〉，後者を〈うなぎ〉と呼んでも良いと思われるので，その場合にはひらがな表記で示すことにした．

§4.1 で述べたように，英和中辞典，独和中辞典ならびに独和大辞典は，魚類名称の訳語に関してはほとんど有益でないことが分かったが，その原因の一つは，学名が示されていないことである．そのことから，語彙集や小辞典は別にしても，デンマーク語－日本語中辞典以上のものを編纂する場合には学名を付すことが必要であることが分かる．もしも本稿で求めた訳語に誤りがあったとしても，学名が付してあれば，その学名を手がかりにして正しい

和名が求められるというものである．

本稿で扱った61種のうちの21種は，例えばbrosme〈タラ科ブロスメ属の魚〉やhavbrasen〈シマガツオ属の魚〉のように，種を表す標準和名を求めることができず，属までしか示すことができなかった．筆者はそれ以上詳しく調べる方法を知らない．これらの21種には，おそらく標準和名が存在しないと思われるが，もしも存在するならば，どなたかご教示いただきたい．また，もしも標準和名が存在しないのならば，『世界鳥』の山階博士らが標準和名のない鳥にそうされたように，どなたか標準和名をつけていただきたいものである．

本稿で検討したことは魚類名称全体はもとより動物の名称と植物の名称のすべてに当てはまることである．

なお，本稿末にデンマーク語，スウェーデン語，ノルウェー語の海水魚類名称の日本語訳を学名とともにリストアップした．

本稿は辞典の編纂者の視点から考察してきたが，辞書の利用者側も正確に訳すように意識改革をする必要があろう．例えば，デンマークのユールではモミの木のクリスマスツリーの下にプレゼントを置くのではなく，トウヒの木の下にであることを理解しなくてはならない．つまり，ヨーロッパモミはドイツ中部以南に分布している（『電日百』）のであり，デンマークのgranはヨーロッパトウヒのことなのである．granを辞書で調べて，〈トウヒ〉という訳語が出ていても，大勢の人は〈モミ〉という訳語の方を選択してしまうのが問題なのである．もっとも，辞書に「ヨーロッパモミはドイツ中部以南に分布」という説明があれば，デンマークのgranを〈モミ〉と訳す人は減少すると思われるのだが．

注

(1) 2000年7月8日19:30-20:45放送のNHK BS 2『地球に好奇心「大なまずをねらえ～ルーマニア・ドナウに生きるリポバ人～」』．

(2) 和名とは

生物につけられた日本語の通称のことをいい，キタキツネ，ヤマザクラなどがそれである．［中略］和名は，通常，片仮名で記し，とくにこれを規制する規約がないので多くは慣用による［中略］和名という場合には，いちおう標準的なものをさすので，なるべく広く知られた名を用いることが望ましい．（『電日百』）

(3) 『マイスター独和辞典』の略．辞書等の省略については本稿末の「参考文献」を見よ．

(4) この番組の再放送［短縮版］（2000年9月6日23:00-23:50，NHK総合『地球に乾杯「大なまずをねらえ ～ ルーマニア・ドナウに生きるリポバ人 ～」』）ではカワカマスが上がってくるシーンはカットされている．そして，7月8日放送の問題の場面に相当する場面（放送開始後8分頃）では，「春はスズキやカワカマスもよくとれます．ときにはチョウザメがとれることもあると言います」というナレーションが入っており，訂正がなされたと言えるであろうか．

(5) 『デ和』（1993）の編著者はNDOの第13版を参考にしているが，もしも第15版（1995）が1993年以前に出版されてそれをを見ていれば，このような誤解は生じなかったであろう．なぜならば，第15版のpirkの項には挿絵が添えられているからである．

pirk (NDO より)

(6) 学名とは，生物または生物群に与えられた名称のうち，生物学で用いられる世界共通の名をいう．

これら学名の命名には，動物，植物，バクテリアのそれぞれに別の国際的な命名規約が設けられている．学名のうちもっとも基本的なものはリンネの２名式（２名法）である．この２名式の名称はラテン語で表し，生物の各種類を，それが含まれる属の名（大文字で始める）とその種の名（小文字で始める．なお，形容詞であるから，先行の属の名である名詞の性によって語尾の形が異なる．植物の場合は人名に由来する名は大文字で始める．）例えば，スズムシの学名は *Homoeoryllus japonicus De Haan* であるが，これはスズムシが *Homoeoryllus* という属に含まれるという *japonicus* 種類であることを示しており，種の命名者が De Haan であることを表している．『電日百』には以上のような説明があるが，本稿の筆者が辞書類や百科辞典や図鑑類でよく目にするのは，命名者の名が省略された形，つまり，スズムシの例で言うと，*Homoeoryllus japonicus* である．

(7) デンマークの国語小辞典的な性格をもつLDOにさえもfjæsingが見出し語として収録されていることに，本稿の筆者は少なからぬ驚きを感じる．この驚きを，Henrik Galberg Jacobsen 氏（前デンマーク国立国語審議会・研究所（Dansk Sprognævn）上級研究員で現在の南デンマーク大学 — オーゼンセ大学（Sydansk Universitet – Odense Universitet）教授）を通して，LDO の編著者である Pia Jarvad 氏（デンマーク国立国語審議会・研究所上級研究員）に向けたところ，回答があった．その背景には，デンマークの作家 Hans Kirk の作品に *Fiskeren*『漁師』というのがあり，この作品のなかで fjæsing が登場するが，この作品はデンマークの普通(進学)高校（gymnasium）で大抵の場合読まれるということがあるそうである．

(8) 括弧内の数字は，ときにはその大きさにまでなる場合があることを示す．挿絵は，特記がないかぎり，FKF より．

参 考 文 献

FFN = Andersson, K. A. (utg.) 1942. *Fiskar och fiske i Norden*. Band I: *Fiskar och fiske i havet*. Band II: *Fiskar och fiske i sjöar och floder*. Stockholm: Bokförlaget Natur och Kultur.

FKF = Hvass, Hans & Henning Anthon. 1975. *Fisk i farver*. København: Politikens Forlag.

FLF = Hvass, Hans, Karl Aage Tinggaard & Henning Anthon. 1977. *Fugle i farver*. København: Politikens Forlag.

FNS = Christensen, J. Møller & Bente Nyström. 1977. *Fiskeliv i Nordsøen*. København: Gyldendals grønne håndbøger.

FOW = Nelson, Joseph S. 1994. *Fishes of the world*. 3rd ed. New York: John Wiley & Sons, Inc.

SFYB = Scandinavian Fishing Year Book. *Saltvandsfisk*. Hedehusene – Demark.

『商用魚』= 社団法人日本水産物輸入協会編．2000.『商用魚介名ハンドブック』．東京：成山堂書店．

『世界魚』= 上野輝彌・坂本一男．1999.『魚の分類図鑑 —— 世界の魚の種類を考える』．東京：東海大学出版会．

『世界鳥』= 山階芳麿．1986.『世界鳥類和名辞典』．東京：大学書林．

『デ暮らす』=「デンマークに暮らす」編集委員会．1996.『デンマークに暮らす』．コペンハーゲン：デンマーク日本人会．

『電日百』=『電子ブック版 日本大百科全書』．1996．東京：小学館．

『日海魚』= 蒲原稔治・岡村収．1995（1985）.『原色日本海水魚類図鑑（1），（2）』．大阪：

保育社.
百瀬宏・村井誠人監修. 1996.『世界の歴史と文化　北欧』. 東京：新潮社.

辞 書

DER = Axelsen, Jens. 1995. *Dansk-engelsk ordbog*. 10. udg. (Gyldendals røde ordbøger) København: Gyldendal.

DES = Vinterberg, Hermann & C. A. Bodelsen. 1990. *Dansk-engelsk ordbog*. 3. udg. ved Viggo Hjørnager Pedersen. (Gyldendals store ordbøger) København: Gyldendal.

DTR = Bork, Egon. 1989 (1987). *Dansk-tysk ordbog*. 9. udg. 3. opl. (Gyldendals røde ordbøger) København: Gyldendal

DTS = Bergstrøm-Nielsen, Henrik, Henrik Lange & Henry Verner Larsen. 1991. *Dansk-tysk ordbog*. (Munksgaards store ordbøger) København: Munksgaard.

LDO = Pia Jarvad. 1991. *Politikens Lille Danske Ordbog*. København: Politikens Forlag.

NDO = Becker-Christensen, Christian & Peter Widell (red.). 1995. *Politikens Nudansk Ordbog & Sprogbrugsleksikon*. 15. udg. København: Politikens Forlag.

ODS = Det Danske Sprog- og Litteraturselskab. 1975 (1922). *Ordbog over det danske Sprog*. 4. bind. København: Gyldendal.

SNNDO = Becker-Christensen, Christian *et al.* (red.). 1997 (1996). *Politikens Store Nye Nudansk Ordbog*. 1. udg. 2. opl. København: Politikens Forlag.

『英和大研』= 小稲義男ほか編. 1980.『研究社新英和大辞典』. 第５版. 東京：研究社.
『英和中』= 小稲義男ほか編. 1985.『新英和中辞典』. 第５版. 東京：研究社.
『英和中６』= 竹林滋ほか編. 1994.『新英和中辞典』. 第６版. 東京：研究社.
『英和大ラ』= 小学館ランダムハウス英和大辞典第２版編集委員会編. 1994.『小学館ランダムハウス英和大辞典』. 第２版. 東京：小学館.
『デ和』= 古城健志・松下正三編著. 1993.『デンマーク語辞典』. 東京：大学書林.
『独和郁』= 冨山芳正編集主幹. 1987.『郁文堂 独和辞典』. 東京：郁文堂.
『独和研』= 相良守峯監修，鐵野善資編. 1996.『研究社 独和辞典』. 初版. 東京：研究社.
『独和大』= 国松孝二ほか編. 1990 (1985).『小学館 独和大辞典（コンパクト版）』. 東京：小学館.
『独和マ』= 戸川敬一ほか. 1992.『マイスター独和辞典』. 東京：大修館書店.
『仏和中』= 田村毅ほか編. 1993 (1985).『ロワイヤル仏和中辞典』. 東京：旺文社.

テレビ番組

NHK BS２. 2000 年７月８日 19:30-20:45 放送.『地球に好奇心「大なまずをねらえ～ルーマニア・ドナウに生きるリポバ人～」』.
NHK 総合. 2000 年９月６日 23:00-23:50 放送.『地球に乾杯「大なまずをねらえ ～ ルーマニア・ドナウに生きるリポバ人 ～」』.

Appendix　日本語訳リスト

デンマーク語，スウェーデン語，ノルウェー語の海水魚類名称のうち本稿で扱ったものの学名と日本語訳を以下に示す．なお，日本語訳のうち，カタカナ表記のものは標準和名であり，ひらがな表記のものは略称あるいは通称である．

1．デンマーク語 ── 学名（ラテン語）── 日本語

ansjos: *Engraulis encrasicholus* カタクチイワシ，アンチョビー
bars (= havbars): *Morone labrax, Dicentrarchus labrax* ニシスズキ，すずき
blåsej ⟶ lubbe
bredflab ⟶ havtaske
brisling: *Sprattus sprattus* ニシン科ウルメイワシ属の魚
brosme: *Brosme brosme* タラ科ブロスメ属の魚
brugde: *Cetorhinus maximus* ウバザメ，バカザメ
fjæsing: *Trachinus draco, Trachinus vipera* スズキ目ワニギス亜目トラキヌス科トゲミシマ属の２種の魚
glansfisk: *Lampris guttatus* アカマンボウ，マンダイ
grå knurhane: *Trigla gurnardus* ホウボウ科トリグラ属の魚
gråsej ⟶ sej
havbars ⟶ bars
havbrasen: *Brama raii* シマガツオ属の魚
havkat: *Anarhichas lupus* ニシオオカミウオ，おおかみうお
havtaske (= bredflab): *Lophius piscatorius* ニシアンコウ，あんこう
havål: *Conger conger* ヨーロッパアナゴ，モトアナゴ，あなご
hellefisk: *Reinhardtius hippoglossoides* カラスガレイ
helleflynder: *Hippoglossus hippoglossus* タイセイヨウオヒョウ，おひょう
hestemakrel: *Trachurus trachurus* ニシマアジ，まあじ，あじ
hornfisk: *Belone belone* (ヨーロッパ)ダツ
hvilling: *Merlangius merlangus* タラ科メルランギウス属の小形の魚
håising: *Hippoglossoides platessoides* グリーンランドアカガレイ
ising (= slette): *Limanda limanda* マコガレイ属の魚
klumpfisk: *Mola mola* マンボウ
knurhane ⟶ grå knurhane, rød knurhane
kuller: *Melanogrammus aeglefinus* タラ科メラノグランムス属の魚，ハドック
kulmule: *Merluccius merluccius* (タラ科メルルッキウス属)メルルーサ
laks: *Salmo salar* タイセイヨウサケ，サーモン
lange: *Molva molva* クロジマナガダラ
lodde: *Mallotus villosus* カラフトシシャモ，ししゃも
lubbe (= blåsej, lyssej): *Pollachius pollchius* (ヨーロッパ)スケトウダラ，すけとうだら
lyssej ⟶ lubbe
makrel: *Scomber scombrus* タイセイヨウサバ，さば

mulle: *Mullus surmuletus* ヨーロッパヒメジ，ひめじ
multe ⟶ tyklæbet multe
pighaj: *Squalus acanthias* アブラツノザメ，つのざめ
pighvar: *Scophthalmus maximus* カレイ目スコプタルムス科スコプタルムス属の魚，（広義の）ヒラメの類，ひらめ
rødfisk: *Sebastes marinus* メバル属の魚，（商用名称）あかうお
rød knurhane: *Trigla lucerna* ホウボウ科トリグラ属の魚
rødspætte: *pleuronectes platessa* タイセイヨウツノガレイ，つのがれい
rødtunge: *Microstomus microcephalus (kitt)* ババガレイ属/ナメタガレイ属，ばばがれい/なめたがれい
sandgrævling ⟶ tobis
sanktpetersfisk: *Zeus faber* ニシマトウダイ，まとうだい
sardin: *Sardina pilchardus* ニシン科サルディナ属の魚，ピルチャード
sej (= gråsej): *Pollachius virens, Gadus virens* シロイトダラ
sild: *Clupea harengus* タイセイヨウニシン，にしん
sildehaj: *Lamna nasus* ネズミザメ
sildekonge: *Regalecus glesne* リュウグウノツカイ
skade: *Raja batis* ガンギエイ属の魚，がんぎえい
skolæst: *Coryphaenoides rupestris*（タラ目ソコダラ科）ホカケダラ
skrubbe: *Platichthys flesus* ニシカワガレイ，ニシヌマガレイ，かわがれい，ぬまがれい
skægtorsk: *Trisopterus luscus* フランスダラ
skærising: *Glyptocephalus cynoglossus*（カレイ科）タイセイヨウヒレグロ，ひれぐろ
slethvar: *Scopthalmus rhombus* カレイ目スコプタルムス科スコプタルムス属の魚，（広義の）ヒラメ類，ひらめ
slette ⟶ ising
sortmund: *Micromesistius poutassou* プタスダラ
sortvels: *Raniceps ranimus* タラ目ラニケプス科ラニケプス属の魚
spærling: *Boregadus [Trisopterus] ermarki* ノルウェーダラ
stenbider: *Cyclopterus lumpus* ダンゴウオ科キュクロプテルス属の魚，だんごうお
stør: *Acipenser sturio* チョウザメ
sværdfisk: *Xiphias gladius* メカジキ
sømrokke: *Raja clavata* ガンキエイ属の魚，がんぎえい
søtunge ⟶ tunge
tobis (= sandgrævling): *Ammodytes lancea* イカナゴ属の魚，いかなご
tobiskonge: *Hyperoplus lanceolatus* イカナゴ科ヒュペロプルス属の魚，おおいかなご
torsk: *Gadus morhua* タイセイヨウダラ，たら
tun (= tunfisk): *Thunus thynnus* クロマグロ，まぐろ
tunfisk ⟶ tun
tunge (= søtunge): *Solea solea*（ササウシノシタ科）ヨーロッパソール，したびらめ
tyklæbet multe: *Mugil chelo* ボラ属，ボラ
ål: *Anguilla anguilla* ヨーロッパウナギ，うなぎ
ålekvabbe: *Zoarces viviparus* ギンポ亜目ゲンゲ科ゾアルケス属の魚，げんげ

2．スウェーデン語 ── 学名（ラテン語）── 日本語

ansjovis: *Engraulis encrasicholus* カタクチイワシ，アンチョビー
bergskädda ⟶ bergtunga
bergtunga: (= bergskädda) *Microstomus microcephalus (kitt)* ババガレイ属/ナメタガレイ属，ばばがれい/なめたがれい
bleka ⟶ lyrtorsk
blåtobis ⟶ tobis
blåvitling ⟶ kolmule
brugd: *Cetorhinus maximus* ウバザメ，バカザメ
fenknot: *Trigla lucerna* ホウボウ科トリグラ属の魚
fjärsing: *Trachinus draco, Trachinus vipera* スズキ目ワニギス亜目トラキヌス科トゲミシマ属の２種の魚
glansfisk: *Lampris guttatus* アカマンボウ，マンダイ
gråsej ⟶ sej
gulstrimmig mullus: *Mullus surmuletus* ヨーロッパヒメジ，ひめじ
havsabborre: *Morone labrax, Dicentrarchus labrax* ニシスズキ，すずき
havsbraxen:*Brama raii* シマガツオ属の魚
havskatt: *Anarhichas lupus* ニシオオカミウオ，おおかみうお
havsål: *Conger conger* ヨーロッパアナゴ，モトアナゴ，あなご
hälleflundra: *Hippoglossus hippoglossus* タイセイヨウオヒョウ，おひょう
hästemakrill ⟶ taggmakrill
håbrand (= sillhaj): *Lamna nasus* ネズミザメ
klumpfisk: *Mola mola* マンボウ
knaggrocka: *Raja clavata* ガンキエイ属の魚，がんぎえい
knorrhane (= knot): *Trigla gurnardus* ホウボウ科トリグラ属の魚
knot ⟶ knorrhane
kolja: *Melanogrammus aeglefinus* タラ科メラノグランムス属の魚，ハドック
kolmule (= blåvitling): *Micromesistius poutassou* プタスダラ
kummel: *Merluccius merluccius*（タラ科メルルッキウス属）メルルーサ
kungsfisk ⟶ rödfisk
kvabbso: *Cyclopterus lumpus* ダンゴウオ科キュクロプテルス属の魚のメス (cf. sjurygg)
lax: *Salmo salar* タイセイヨウサケ，サーモン
lerskädda: *Hippoglossoides platessoides* グリーンランドアカガレイ
liten hälleflundra: *Reinhardtius hippoglossoides* カラスガレイ
lodda: *Mallotus villosus* カラフトシシャモ，ししゃも
lubb: *Brosme brosme* タラ科ブロスメ属の魚
lyrtorsk (= bleka): *Pollachius pollchius*（ヨーロッパ）スケトウダラ，すけとうだら
långa: *Molva molva* クロジマナガダラ
makrill: *Scomber scombrus* タイセイヨウサバ，さば
marulk: *Lophius piscatorius* ニシアンコウ，あんこう
multe ⟶ tjockläppad multe
näbbgädda: *Belone belone*（ヨーロッパ）ダツ

paddtorsk: *Raniceps ranimus* タラ目ラニケプス科ラニケプス属の魚
pigghaj: *Squalus acanthias* アブラツノザメ，つのざめ
piggvar: *Scophthalmus maximus* カレイ目スコプタルムス科スコプタルムス属の魚，（広義の）ヒラメの類，ひらめ
rödfisk (= kungsfisk): *Sebastes marinus* メバル属の魚，（商用名称）あかうお
rödspätta: *Pleuronectes platessa* タイセイヨウツノガレイ，つのがれい
rödtunga:*Glyptocephalus cynoglossus*（カレイ科）タイセイヨウヒレグロ，ひれぐろ
sandskädda (= slätta): *Limanda limanda* マコガレイ属の魚
sanktpersfisk: *Zeus faber* ニシマトウダイ，まとうだい
sardin: *Sardina pilchardus* ニシン科サルディナ属の魚，ピルチャード
sej (= gråsej): *Pollachius virens, Gadus virens* シロイトダラ
sill: *Clupea harengus* タイセイヨウニシン，にしん
sillhaj ⟶ håbrand
sillkung: *Regalecus glesne* リュウグウノツカイ
sjurygg (= stenbit, kvabbso（メス）): *Cyclopterus lumpus* ダンゴウオ科キュクロプテルス属の魚，だんごうお
skarpsill (= vassbuk): *Sprattus sprattus* ニシン科ウルメイワシ属の魚
skoläst: *Coryphaenoides rupestris*（タラ目ソコダラ科）ホカケダラ
skrubba (= skrubbskädda): *Platichthys flesus* ニシカワガレイ，ニシヌマガレイ，かわがれい，ぬまがれい
skrubbskädda ⟶ skrubba
skäggtorsk: *Trisopterus luscus* フランスダラ
slätrocka: *Raja batis* ガンギエイ属の魚，がんぎえい
slätta ⟶ sandskädda
slätvar: *Scopthalmus rhombus* カレイ目スコプタルムス科スコプタルムス属の魚，（広義の）ヒラメ類，ひらめ
stenbit ⟶ sjurygg
stör: *Acipenser sturio* チョウザメ
svärdfisk: *Xiphias gladius* メカジキ
taggmakrill (= hästemakrill): *Trachurus trachurus* ニシマアジ，まあじ，あじ
tjockläppad multe: *Mugil chelo* ボラ属，ボラ
tobis (= blåtobis): *Ammodytes lancea* イカナゴ属の魚，いかなご
tobiskung: *Hyperoplus lanceolatus* イカナゴ科ヒュペロプルス属の魚，おおいかなご
tonfisk: *Thunus thynnus* クロマグロ，まぐろ
torsk: *Gadus morhua* タイセイヨウダラ，たら
tunga: *Solea solea*（ササウシノシタ科）ヨーロッパソール，したびらめ
tånglake: *Zoarces viviparus* ギンポ亜目ゲンゲ科ゾアルケス属の魚，げんげ
vassbuk ⟶ skarpsill
vitling: *Merlangius merlangus* タラ科メルランギウス属の小形の魚
vitlinglyra: *Boregadus [Trisopterus] ermarki* ノルウェーダラ
ål: *Anguilla anguilla* ヨーロッパウナギ，うなぎ

３．ノルウェー語 ── 学名（ラテン語）── 日本語

ansjos: *Engraulis encrasicholus* カタクチイワシ，アンチョビー
blåkveite ⟶ svartkveite
breiflabb (= havtaske, marulk): *Lophius piscatorius* ニシアンコウ，あんこう
brisling: *Sprattus sprattus* ニシン科ウルメイワシ属の魚
brosme: *Brosme brosme* タラ科ブロスメ属の魚
brugde: *Cetorhinus maximus* ウバザメ，バカザメ
fjesing: *Trachinus draco, Trachinus vipera* スズキ目ワニギス亜目トラキヌス科トゲミシマ属の２種の魚
gapeflyndre: *Hippoglossoides platessoides* グリーンランドアカガレイ
glattrokke ⟶ storskate
havabbor ⟶ havåbor
havbrase: *Brama raii* シマガツオ属の魚
havkatt: *Anarhichas lupus* ニシオオカミウオ，おおかみうお
havtaske ⟶ breiflabb
havåbor (= havabbor): *Morone labrax, Dicentrarchus labrax* ニシスズキ，すずき
havål: *Conger conger* ヨーロッパアナゴ，モトアナゴ，あなご
helleflyndre (= kveite): *Hippoglossus hippoglossus* タイセイヨウオヒョウ，おひょう
horngjel: *Belone belone*（ヨーロッパ）ダツ
hvitting: *Merlangius merlangus* タラ科メルランギウス属の小形の魚
hyse: *Melanogrammus aeglefinus* タラ科メラノグランムス属の魚，ハドック
hå ⟶ pigghai
håbrann: *Lamna nasus* ネズミザメ
knurr: *Trigla gurnardus* ホウボウ科トリグラ属の魚
kolmule: *Micromesistius poutassou* プタスダラ
laks: *Salmo salar* タイセイヨウサケ，サーモン
laksestørje: *Lampris guttatus* アカマンボウ，マンダイ
lange: *Molva molva* クロジマナガダラ
lodde: *Mallotus villosus* カラフトシシャモ，ししゃも
lomre: *Microstomus microcephalus (kitt)* ババガレイ属/ナメタガレイ属，ばばがれい/なめたがれい
lyr: *Pollachius pollchius*（ヨーロッパ）スケトウダラ，すけとうだら
lysing: *Merluccius merluccius*（タラ科メルルッキウス属）メルルーサ
makrell: *Scomber scombrus* タイセイヨウサバ，さば
makrellstjørje: *Thunus thynnus* クロマグロ，まぐろ
marulk ⟶ havtaske
mulle: *Mullus surmuletus* ヨーロッパヒメジ，ひめじ
multe ⟶ tykkleppet multe
månefisk: *Mola mola* マンボウ
paddetorsk: *Raniceps ranimus* タラ目ラニケプス科ラニケプス属の魚
pigghai (= hå): *Squalus acanthias* アブラツノザメ，つのざめ

piggskate: *Raja clavata* ガンキエイ属の魚，がんぎえい
piggvar: *Scophthalmus maximus* カレイ目スコプタルムス科スコプタルムス属の魚，（広義の）ヒラメの類，ひらめ
rognkall: *Cyclopterus lumpus* ダンゴウオ科キュクロプテルス属の魚のオス，だんごうおのオス (cf. rognkjeks)
rognkjeks: *Cyclopterus lumpus* ダンゴウオ科キュクロプテルス属の魚のメス，だんごうおのメス (cf. rognkall)
rødknurr: *Trigla lucerna* ホウボウ科トリグラ属の魚
rødspette: *Pleuronectes platessa* タイセイヨウツノガレイ，つのがれい
sandflyndre: *Limanda limanda* マコガレイ属の魚
sandgrevling ⟶ småsil
sanktpetersfisk: *Zeus faber* ニシマトウダイ，まとうだい
sardin: *Sardina pilchardus* ニシン科サルディナ属の魚，ピルチャード
sej: *Pollachius virens, Gadus virens* シロイトダラ
sild: *Clupea harengus* タイセイヨウニシン，にしん
sildekonge: *Regalecus glesne* リュウグウノツカイ
skjeggtorsk: *Trisopterus luscus* フランスダラ
skolest: *Coryphaenoides rupestris* (タラ目ソコダラ科)ホカケダラ
skrubbeflyndre: *Platichthys flesus* ニシカワガレイ，ニシヌマガレイ，かわがれい，ぬまがれい
slettvar: *Scopthalmus rhombus* カレイ目スコプタルムス科スコプタルムス属の魚，（広義の）ヒラメ類，ひらめ
småsil (= sandgrevling, tobis): *Ammodytes lancea* イカナゴ属の魚，いかなご
smørflyndre: *Glyptocephalus cynoglossus* (カレイ科)タイセイヨウヒレグロ，ひれぐろ
storsil: *Hyperoplus lanceolatus* イカナゴ科ヒュペロプルス属の魚，おおいかなご
storskate (= glattrokke): *Raja batis* ガンギエイ属の魚，がんぎえい
stør: *Acipenser sturio* チョウザメ
svartkveite (= blåkveite): *Reinhardtius hippoglossoides* カラスガレイ
sverdfisk: *Xiphias gladius* メカジキ
taggmakrell: *Trachurus trachurus* ニシマアジ，まあじ，あじ
tobis ⟶ småsil
torsk: *Gadus morhua* タイセイヨウダラ，たら
tunge: *Solea solea* (ササウシノシタ科)ヨーロッパソール，したびらめ
tykkleppet multe: *Mugil chelo* ボラ属，ボラ
uer: *Sebastes marinus* メバル属の魚，(商用名称)あかうお
øyepål: *Boregadus [Trisopterus] ermarki* ノルウェーダラ
ål: *Anguilla anguilla*: ヨーロッパウナギ，うなぎ
ålekvabbe: *Zoarces viviparus* ギンポ亜目ゲンゲ科ゾアルケス属の魚，げんげ

(2000.10.11受理)